

(主な支出)

光熱水費	電気料, 水道料, ガス料金	30,582 千円
修繕費	ばっきフロア修繕	1,798 千円
	防災設備修繕	1,220 千円
	汚泥処理棟脱臭ファン修繕	854 千円
委託料	運転管理	40,284 千円
	汚泥処分	40,041 千円
	電気設備点検	11,859 千円
	長寿命化計画策定	13,900 千円

○公共下水道管渠施設管理事業 67,563 千円 (49,338 千円)

(目的及び期待する効果)

汚水管渠やマンホールなど適切に管理し、管渠の閉塞等を未然に防止する。また、低地内の管内にある汚水を自然流下できる高地までポンプ圧送する中継ポンプ場、マンホールポンプの管理を行う。

管渠施設管理事業として、古川地区管渠補修を実施する。また、道路事業に伴い、愛宕地区マンホールポンプの移設、筒戸地区の管渠移設工事を実施する。

(主な支出)

光熱水費	電気料, 水道料	11,333 千円
通信運搬費	電話料	1,083 千円
委託料	ポンプ場及び管渠清掃	4,968 千円
	雨水排水ポンプ場維持管理	7,387 千円
	下水道台帳更新	5,228 千円
工事請負費	下水道管渠補修及び移設工事	21,650 千円

○使用料・受益者負担金事務事業 38,993 千円 (38,380 千円)

(目的及び期待する効果)

下水道使用料及び受益者負担金の賦課徴収業務を行う。使用料について水道使用料金と併せて徴収業務を行い、受益者負担金について前納報奨金制度を活用することにより収納率の向上、事務の効率化を図る。

(主な支出)

報償費	受益者負担金前納報奨金	4,510 千円
委託料	下水道使用料収納事務負担金	16,482 千円
公課費	消費税納付金	17,627 千円

■ 農業集落排水事業特別会計

1. 概要

農業集落排水事業は、生活排水及びし尿の処理を行い、農業用水の水質改善を図るとともに農村の環境改善を目的として行われている。つくばみらい市においては、平成 2 年度より上平柳地区に着手し、以降、弥柳山谷地区、福岡地区、十和地区、下小目地区、高岡狸穴地区、豊南部地区と順次整備を進めてきた。平成 21 年度に着手した三島地区において、平成 26 年度に一部

供用開始を予定しており、市内全体で8処理区となる見込みである。

2. 平成26年度歳入及び歳出

(収入)

(単位:千円, %)

款	項	平成26年度	構成比	平成25年度	構成比	増減額	増減率
		466,070	100.0	573,919	100.0	△107,849	△18.8
分担金及び負担金	分担金	12,595	2.7	12,427	2.2	168	1.4
使用料及び手数料	使用料	53,193	11.4	49,043	8.5	4,150	8.5
	手数料	1	0.0	1	0.0	0	0.0
県支出金	県補助金	68,068	14.6	72,829	12.7	△4,761	△6.5
財産収入	財産運用収入	42	0.0	33	0.0	9	27.3
繰入金	他会計繰入金	236,426	50.7	237,165	41.3	△739	△0.3
	基金繰入金	8,024	1.7	0	0	8,024	100.0
繰越金	繰越金	10,000	2.2	10,000	1.7	0	0.0
諸収入	市預金利子	20	0.0	20	0.0	0	0.0
	雑入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
市債	市債	77,700	16.7	192,400	33.5	△114,700	△59.6

(支出)

(単位:千円, %)

款	項	平成26年度	構成比	平成25年度	構成比	増減額	増減率
		466,070	100.0	573,919	100.0	△107,849	△18.8
農業集落排水事業費	農業集落排水事業費	316,208	67.9	424,403	74.0	△108,195	△25.5
公債費	公債費	146,862	31.5	146,516	25.5	346	0.2
予備費	予備費	3,000	0.6	3,000	0.5	0	0.0

平成26年度の主な事業

○農業集落排水整備事業 151,811千円 (266,509千円) ※()は前年度当初予算額

(目的及び期待する効果)

三島地区の整備において、平成26年度供用開始するⅠ期地区(埴, 久保, 戸茂, 戸崎, 根柄)に続き、Ⅱ期地区(上島, 中島, 福原)の整備を進める。

(主な支出)

委託料	管渠実施設計	12,000千円
工事請負費	管渠工事	121,000千円

○農業集落排水処理施設管理事業 78,858千円 (81,852千円)

(目的及び期待する効果)

区域から集まった汚水を浄化処理し、処理水を農業用排水路等に放流する基幹的な施設である各処理場の適正な運転及び維持管理を行うものである。

処理場施設管理事業として、新規に三島処理場の管理業務が開始される。また、福岡地区機能強化計画の策定を実施する。

(主な支出)

光熱水費	電気料, 水道料	26,469千円
修繕費	自動微細目スクリーン交換	1,858千円
	汚泥引抜ポンプ交換	1,130千円
	汚泥貯留槽用水位計交換	802千円
	委託料	運転管理
	汚泥処分	6,561千円

電気設備点検	862 千円
機能強化計画策定	5,000 千円

○農業集落排水管渠施設管理事業 23,264 千円 (17,062 千円)

(目的及び期待する効果)

汚水管渠やマンホールなど適切に管理し、管渠の閉塞等を未然に防止する。また、低地内の管内にある汚水を自然流下できる高地までポンプ圧送するマンホールポンプの管理を行う。

管渠施設管理事業として、新規に三島処理区真空ステーションの管理業務が開始する。併せて、三島Ⅰ期地区の管路台帳整備を実施する。また、東楯戸台線工事に伴う下水道管移設工事を実施する。

(主な支出)

光熱水費	電気料	6,540 千円
通信運搬費	電話料	1,998 千円
委託料	管渠清掃	3,090 千円
工事請負費	下水道管移設工事	6,500 千円

○使用料・受益者負担金事務事業 9,191 千円 (10,100 千円)

(目的及び期待する効果)

下水道使用料及び受益者分担金の賦課徴収業務を行う。使用料について水道使用料金と併せて徴収業務を行うことにより収納率の向上、事務の効率化を図る。

(主な支出)

委託料	下水道使用料収納事務負担金	2,681 千円
公課費	消費税納付金	6,000 千円

○放射能対策事業 11,266 千円 (10,925 千円)

(目的及び期待する効果)

放射線量の測定を実施し、乾燥汚泥処理を行う判断をするとともに、住民への情報提供を行う。

(主な支出)

手数料	汚泥測定	562 千円
委託料	汚泥引抜	10,692 千円
使用料	有料道路	12 千円

■ 市営分譲住宅特別会計

1. 概要

昭和45年、旧伊奈村営分譲住宅事業は、過疎化と地域の活性化を目的に始めました。

市営分譲住宅事業は、山王新田第1期住宅から東栗山住宅まで、729戸の住宅を分譲いたしました。現在も市と契約関係にある居住者は、530戸を数えます。

住宅の土地について地権者と市が賃貸借契約を結び、その土地に対して市と居住者が転貸借契約を結んでおり、地代について、住宅土地貸付収入として、居住者から市へ納入され、住宅敷地借上料として市より地権者へ支払いをしております。

平成22年に市と地権者及び居住者とで、2回目となる20年間の契約更新を実施し、今回の契約更新から地権者及び居住者より、地代額の1%を特別会計の事務手数料として収納しております。

平成25年度より一般会計からの繰入金をなくした独立採算制とし、予算そのものの見直しを図っております。

2. 歳入及び歳出